

マナー&モラルで討論

ゼミに荷主・コンサル参加



日本トラックドライバーク育成機構（JTDO）、酒井誠代表理事）は4月27日、東京都で「ドライバーのマナー&モラル」をテーマにセミナーを開いた。

午前の部は、酒井代表理事が「一緒に仕事をしたい物流事業経営者」という10人と、荷主関連企業から2人、女性コンサルタント4

ドライバーのマナーやモラルに関する問題点などをディスカッション

人を招き、トラックドライバーのマナーやモラルに関する問題点などをディスカッション形式で意見交換。

酒井氏は「スキル（運転技術）とマインド（安全意識）をいろんなどところで学んできたが、マナーやモラルに関してはまだ手付かずのところも多い。本日はビジネススマナーの先生に来ていただいた。これからの初任運転者研修の座学にもマナーとモラルを取り入れた」と考えている」と趣旨を説明した。

荷主や物流企業の各社は、ドライバーによるセクシャルハラスメントやいじめ、女性ドライバーの採用と環境整備、社内でのマナー教育の難しさなど、具体的な事例を報告。

これに対し、荷主やコンサルタント側は「物流企業のドライバーは、我が社の営業マンと同じ位置付け。第一印象が大事で、『明るく笑顔で元気よく』であれば評価される」「ドライバーに『見られている』という意識が薄い。社内で言い続けるべき」「『自分はプロ』という自覚が必要」などと指摘した。

午後の部では酒井氏、社会保険労務士の馬場栄氏（保険サービスシステム）、田山教夫氏（エム・イー・シー）がドライバーの育成、給与、総合物流システムについて、それぞれ講演した。

（北原秀紀）